

実践記録

学校/学年	小学校 / 3 年	
教科等：単元名	学級活動：「知らない人に自分の個人情報を教えない」	
キーワード	不審電話　知らない人　個人情報	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理　法の理解と遵守 安全への知恵　情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e2 「情報を安全に正しく利用すること」
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-2 「個人の情報は他人にもらさない」
授業会場	パソコン教室　普通教室　特別教室〔 〕　その他〔 〕	
学習の目標	不審電話がどんなものなのかを知り、不審電話がかかってきたときには、他者の個人情報を知らない人に教えないという判断ができるか	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	<ul style="list-style-type: none"> 映像クリップを見る。 なぜ主人公が他者の個人情報を教えなかったかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の気持ちになって考えるように、映像クリップを提示する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 自宅に一人にいるときに、知らない人から電話がかかってきた経験を振り返る。 もし自分に電話がかかってきて、何か聞かれたときにどうするかを、いろいろなケースで考える。 不審電話について知り、対処法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 不審電話を受けた経験を問い、「どんなことを聞かれたか」「その時どんなことを感じたか」を問う。 電話の相手や聞かれる内容など、いろいろなケースを想定したワークシートを用意する。 不審電話の特徴と問題点について映像クリップを提示する。
お わ り	<ul style="list-style-type: none"> まとめの映像クリップを見て、一時間を振り返る。 不審電話への対応の仕方を寸劇風に発表する。 	<p>不審電話がかかってきたときに、個人情報を教えることなく対応できたか。</p>

授業の成果

- 子どもたちの中には、保護者が不在の時に知らない人から電話がかかってきたという経験を持つ子がいる。経験がない子も映像クリップを見る中で、「自分にかかってきたらどうしたらいいのかわからない」などと感じ、授業に取り組んだ。
- 自分が洩らしてしまった個人情報により、他者へ迷惑をかけてしまうことの重大さを知ることができた。

指導のポイント・留意点

- 不審電話がかかってきたときに、主人公の立場に立って考えられるか。
- 不審電話に関する不安を解消するために、教師の話や疑似体験による対処法の練習などを行う。